

山梨県地域リハビリテーション人材育成研修会 開催要項

1. 趣旨

地域包括ケアシステムの強化・推進に向けて、地域リハビリテーション活動支援事業により市町村の介護保険事業に参画するリハビリテーション専門職（以下、リハ職）が増えている。その一方で派遣されるリハ職の助言等の平均化や統一化に課題があり人材育成が必要である。

そこで、市町村からの派遣に応じ、地域ケア会議や住民主体の通いの場等の多様な場において技術的助言等を一定の基準で実施できる人材を養成する。

2. 事業主体

山梨県、山梨県リハビリテーション支援センター、山梨県リハビリテーション専門職団体協議会

3. 開催日時及び開催方法・場所

①基礎研修：令和6年11月9日（土）13:00～16:20（受付 12:30～）

オンライン形式（Zoom 使用）

②応用研修：令和6年11月10日（日）9:30～16:30（受付 9:00～）

参集形式（地域交流施設 大木記念ホール）

③フォローアップ研修：令和7年3月8日（土）13:00～16:20（受付 12:30～）

参集形式（地域交流施設 大木記念ホール）

※ 詳細カリキュラムは別紙参照

4. 対象者及び募集人数

①基礎研修：山梨県内の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 500 名

（会員・非会員は問いません）

②応用研修：①基礎研修を修了し、すでに市町村事業に関わっている者で、③フォローアップ研修にも参加可能な者 50 名

③フォローアップ研修：②応用研修までを修了した者 50 名

※参加希望者が募集人数を超える場合には、抽選となります。

5. 申し込み方法

・QRコード、URLから10月25日までに申し込みをお願いします。

・申し込み URL：<https://forms.gle/q4hFemjgchpmEhd8>



6. その他

●認証までの流れ

全ての研修を修了した者は、PTOTST バンクに登録（所属長の許可が必要）します。登録を条件に山梨県が認証をします。認証後、各市町村に氏名・職種・所属を開示します。

※バンク登録の条件としては、山梨県理学療法士会、山梨県作業療法士会、山梨県言語聴覚士会の会員のみとなります。

●更新について

認証に関しては、更新研修を実施していく予定です。

<会場 MAP>

地域交流施設 大木記念ホール

〒406-0032 笛吹市石和町四日市場 2031



受付:12:30～ 開会:13:00

基礎研修編

2024年11月9日(土)

1	13:10～13:40	地域包括ケアと地域リハビリテーションの概念	30	●地域リハビリテーションの概要 ●地域包括ケアの概要 ●自立支援とつながりの重要性について ●共生社会の考え方
2	13:40～14:10	山梨県地域リハビリテーション体制 (山梨県・県リハセンター・専門職団体協議会)	30	●地域リハ手引書の話 ●POSバンク更新と認定制度について
3	14:10～14:40	【制度編①】 介護予防の在り方・生活支援体制整備事業について (総合事業、地域リハ活動支援事業、一体化事業、地域ケア会議など)	30	●セラピストが関わる事業制度についての概要
	14:40～14:50	休憩	10	
4	14:50～15:20	【スキル編①】 地域を捉えること(地域診断)について	30	●地域資源と実情の把握の仕方 ●地域診断とは ●地域を知ることと事業のつながり
5	15:20～15:50	【スキル編②】 地域の全体像を捉えること (単体事業ではなく、市町村事業全体を把握)	30	●市町村事業の全体を捉える重要性 ●単体事業への参加から全体を捉える方法
6	15:50～16:20	【スキル編③】 これからの動向とセラピストに求められること リハビリテーションマインド・地域支援へのプロセス	30	●これからの時代背景と地域展開について ●セラピストに求められていること

受付:9:00～ 開会9:30

応用研修編

2024年11月10日(日)

1	9:40～10:20	介護予防事業について	40	●総合事業の具体的な講義 ●通所C、訪問Cの事例なども含めて ●通いの場(シルバー体操・百歳体操など)
2	10:20～11:00	地域ケア会議について	40	●地域ケア会議の意味 ●自立支援型地域ケア会議の内容 ●ケア会議の実態(各市町村の事例紹介)
	11:00～11:10	休憩		
3	11:10～11:50	個別訪問指導について(住環境も含めて・認知症の理解)	40	●個別訪問に求められること ●単発訪問の責任と求められること ●必要なスキルについて(住環境、全体評価など) ●認知症初期支援チームについて
4	11:50～12:30	一体化事業について	40	●一体化事業の詳細 ●ポピュレーションアプローチについて
	12:30～13:30	休憩		
5	13:30～14:10	フレイル予防(運動・口腔・栄養・社会参加)	40	
6	14:10～14:50	その他(場づくり、伴走支援について)	40	●場所と場の違いについて ●サロン活動について(社協事業との整理) ●市町村事業の伴走支援について(事例紹介)
	14:50～15:00	休憩		
7	15:00～16:30	グループワーク	90	●実際の地域に出ている事例を共有 ●地域に求められるセラピストの役割を理解 ●地域で活躍する他職種の連携
グループワーク				
1	15:00～15:05	グループワークの目的共有と内容を説明	5	●アイスブレイク
2	15:05～16:00	グループで実践報告・課題(悩みの共有)	55	●参加者が行ってきた市町村事業支援についてグループ内で報告。その中で出てきた課題や悩みを共有
3	16:00～16:30	各自が課題をもとに活動計画を作成し発表	30	・自身が課題感じていることの解決に向けて活動計画を作成し、発表。

フォローアップ研修編

2025年3月8日(土)

受付:12:30～ 開会13:00

1	13:00～15:00	グループワーク内活動報告 パワポにまとめて	120	●応用研修時作成した活動計画をもとにして、このような活動を行ったのか、結果どうなったのかをまとめて発表
2	15:00～15:30	グループ代表者発表		
3	15:30～16:20	【講義】 現時点での山梨県地域リハ展開の実績・現状・展望		●R6年度の市町村事業への支援実績 ●年度の活動報告(1名～2名)

- * 修了証書については後日送付
- * 当日資料のパワポは事前に作成提出。認定条件
- * 懇親会（希望者）

山梨県地域リハビリテーション人材育成プログラム

目的・方向性

- ①市町村の進める、地域包括ケアの取り組み、事業の意味を理解し、事業に協力できる。
- ②市町村事業を通して、地域の理解を深め、事業の改善・地域づくりに向けた提案、発信ができる。



基礎研修

- 対象者：山梨県内のリハビリテーション専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）
- 地域リハビリテーションの概念や山梨県の地域リハビリテーション体制、制度や市町村事業などについて基本的な知識を学ぶ
 - ・地域包括ケア、地域リハビリテーションの概念
 - ・山梨県の地域リハビリテーション体制
 - ・生活支援体制整備事業について
 - ・地域診断、地域の捉え方、地域展開などについて

応用研修

- 対象者：基礎研修を修了し、市町村事業に関わっている者でフォローアップ研修にも参加可能な者
- 市町村事業において、具体的な支援方法等について学ぶ
 - ・介護予防事業、地域ケア会議、個別訪問指導、高齢者の保険事業と介護予防の一体的な実施、フレイル予防など
 - ・グループワーク

フォローアップ研修

- 対象者：基礎研修および応用研修を修了した者
- 市町村事業等における活動状況を報告し、他の活動実践経験者と情報共有をする
 - ・市町村事業等における活動状況の報告と情報共有
 - ・グループワーク

PT・OT・STバンク登録

- 山梨県PT・OT・STバンクに登録
- ※バンク登録の条件
 - 山梨県理学療法士会、山梨県作業療法士会、山梨県言語聴覚士会の会員のみ

県認証

- 県知事による認定証を交付
- ※県の認証は、山梨県PT・OT・STバンクへの登録が必要。
- ※認定証については後日送付

市町村周知・派遣

- 各市町村にプログラム修了者を周知
- 協力機関、PT・OT・STバンクとして市町村事業や地域活動に派遣